



2018 ベリトランスサーバー証明書更新

接続検証手順

～VeriTrans3G/VeriTrans4G(EC-CUBE 決済モジュール)～

Ver. 1.1 (2018年3月)

目次

1. 接続検証の手順.....	3
1.1. マーチャント様環境の準備.....	3
1.2. EC-CUBE2 をご利用の場合.....	3
1.2.1. 検証環境への接続設定 (EC-CUBE2).....	3
1.2.2. 検証用取引の実行 (EC-CUBE2).....	4
1.2.3. 検証結果の確認 (EC-CUBE2).....	4
1.3. EC-CUBE3 をご利用の場合.....	5
1.3.1. 検証環境への接続設定 (EC-CUBE3).....	5
1.3.2. 検証用取引の実行 (EC-CUBE3).....	6
1.3.3. 検証結果の確認 (EC-CUBE3).....	6
1.4. 検証結果のご連絡.....	7
2. 通信エラー時の対応について.....	8
3. 本番運用における注意点.....	8
4. その他.....	9
4.1. 著作権、および問合せ先.....	9
4.2. 改定履歴.....	9

1. 接続検証の手順

EC-CUBE の「ベリトランス決済モジュール」をご利用のマーチャント様におかれましては、以下に示す手順で接続検証を行って頂きますようお願いいたします。

検証を行って頂く際は、本番サーバーと同等スペックのマーチャント様環境から疎通確認を行って頂いたうえで、最終確認として本番環境からの接続検証を行って頂くことを推奨いたします。

1.1. マーチャント様環境の準備

マーチャント様が検証を行う環境は、本番サーバーと同等の環境のご用意をお願いいたします。

また、最終確認のために本番サーバーでの検証も行って頂きますようお願いいたします。

- ✓ OS、ミドルウェア (OpenSSL)、PHP バージョン等が同一のサーバーをご用意ください。
- ✓ マーチャント様の検証サーバー環境では発生しなかった問題が、本番サーバーで発生する可能性もありますので、本番サーバーでも接続検証を実施してください。

1.2. EC-CUBE2 をご利用の場合

以下のバージョンを対象とします。

EC-CUBE バージョン	ベリトランス決済モジュールバージョン
2.11/2.12/2.13 系	Ver.1.4.0 以上 ※Ver.1.4.0 未満の場合は、モジュールのバージョンアップが必要です。

1.2.1. 検証環境への接続設定 (EC-CUBE2)

(1) マーチャント情報および本番モード/ダミーモードの切替え

EC-CUBE 管理画面のメニューより、「オーナーズストア」-「モジュール管理」でモジュール一覧を取得し、ベリトランスモジュールの「設定」より切替えが可能です。

マーチャント ID の設定	<p>検証に利用するマーチャント ID は、現在ご利用の本番用マーチャント ID をご利用ください。</p> <p>本番用マーチャント ID のご利用が難しい場合は、共用のテスト用マーチャント ID をご利用ください。</p> <p>テスト用マーチャント ID を利用する場合は、以下の項目を設定してください。</p> <p style="text-align: center;">マーチャント GCID/マーチャント認証鍵/トークン API キー</p> <p>※テスト用マーチャント ID の情報は、ベリトランスのサポートサイトより『テスト利用情報通知書』をダウンロードしてご確認ください。(https://www.veritrans.co.jp/trial/login/)</p>
ダミーモードの設定	<p>本番モード、ダミーモードのどちらのモードでも実行可能です。</p> <p>本番用マーチャント ID で、ダミーモードでテストを実施する場合は、以下の項目を設定してください。</p> <p style="text-align: center;">◇ ダミーモード (<input type="checkbox"/> ダミーモードで稼働する に✓を付けてください。)</p> <p>※テスト用マーチャント ID をご利用の場合は、必ずダミーモードになりますので設定不要です。</p> <p>※ベリトランス検証環境は、本番取引が実行できるように設定しています。例えばカード決済の場合は実際に与信枠が確保され、売上が成立しますので、必ず取消を行って頂きますようお願いいたします。</p>

(2) 接続先 URL の変更

ベリトランス検証環境に接続するために、ベリトランス決済モジュールの設定ファイルを変更してください。

設定ファイルのパスと、設定方法を下表に示します。

設定ファイルのパス	\${EC-CUBE}/data/downloads/module/mdl_sbivt3g/tgMdkPHP/tgMdk/3GPSMDK.properties ※ \${EC-CUBE}は、EC-CUBE のインストールディレクトリです。	
接続先 URL の変更	変更前(本番環境 URL)	HOST_URL = https://api.veritrans.co.jp:443
	変更後(検証環境 URL)	HOST_URL = https:// sandbox .api.veritrans.co.jp:443

1.2.2. 検証用取引の実行(EC-CUBE2)

ベリトランス検証環境に取引要求を送信するために購入操作を行い、処理が成功することをご確認ください。

- ✓ SSL 通信が成功することの確認が目的のため、決済の種類は問いません。
- ✓ 本番モードで売上が成立する操作を行った場合は、必ず取消の操作を行ってください。

1.2.3. 検証結果の確認(EC-CUBE2)

ベリトランス決済モジュールのログで、取引要求がベリトランス検証環境に向けて送信されていることをご確認ください。

決済モジュールの ログファイル出力先	\${ECCUBE}/data/logs/mdk_php.log ※ \${EC-CUBE}は、EC-CUBE のインストールディレクトリです。 ※ ログ出力先を変更している場合は、以下のファイルに設定されているパスをご確認ください。 \${ECCUBE}/data/downloads/module/mdl_sbivt3g/tgMdkPHP/tgMdk/log4php.properties
ログの確認方法	1) 接続先 URL の確認 以下のようにベリトランス検証環境の URL が出力されていることをご確認ください。 <i>connect url ==> https://sandbox.api.veritrans.co.jp:443/.....</i> 2) 結果ステータスの確認 結果のログに含まれる"mstatus"が"success"であることをご確認ください。 <i>response data ==> "mstatus": "success",</i> "mstatus"が"failure"の場合は、結果コード"vResultCode"をご確認ください。 <i>response data ==> ... "vResultCode": "AG64000000000000", ... "mstatus": "failure",</i> "vResultCode"が「M 以外で始まる」場合は、SSL 通信が確立できているためテストは成功ですが、通信の成否がお分かりにならない場合は、ログを添えてテクニカルサポートまでお問い合わせください。
エラー時の対応	接続に失敗した場合は、ログに出力されているエラーの内容をご確認下さい。 OS やミドルウェアのログも合わせてご確認ください。WEB サーバ (apache のログ等) に何らかのエラーが出力されている場合がございます。 また、「2.通信エラー時の対応について」をご参照ください。

1.3. EC-CUBE3 をご利用の場合

以下のバージョンを対象とします。

EC-CUBE バージョン	ベリトランス決済モジュールバージョン
3.0.5 以降	Ver.1.0.0 以上

1.3.1. 検証環境への接続設定 (EC-CUBE3)

(1) マーチャント情報および本番モード/ダミーモードの切替え

EC-CUBE 管理画面のメニューより、「オーナーズストア」-「プラグイン」-「プラグイン一覧」を開き、VeriTrans3G プラグインの「設定」より行ってください。

マーチャント ID の設定	<p>検証に利用するマーチャント ID は、現在ご利用の本番用マーチャント ID をご利用ください。</p> <p>本番用マーチャント ID のご利用が難しい場合は、共用のテスト用マーチャント ID をご利用ください。</p> <p>テスト用マーチャント ID を利用する場合は、以下の項目を設定してください。</p> <p style="padding-left: 40px;">マーチャント CCID/マーチャント認証鍵/マーチャント ID</p> <p style="padding-left: 40px;">ハッシュシード/Server Key/Client Key</p> <p>※テスト用マーチャント ID の情報は、ベリトランスのサポートサイトより『テスト利用情報通知書』をダウンロードしてご確認ください。 (https://www.veritrans.co.jp/trial/login/)</p>
ダミーモードの設定	<p>本番モード、ダミーモードのどちらのモードでも実行可能です。</p> <p>本番用マーチャント ID で、ダミーモードでテストを実施する場合は、以下の項目を設定してください。</p> <p style="padding-left: 40px;">◇ ダミーモード (◎ ダミーモードで稼働 を選択してください。)</p> <p>※テスト用マーチャント ID をご利用の場合は、必ずダミーモードになりますので設定不要です。</p> <p>※ベリトランス検証環境は、本番取引が実行できるように設定しています。例えばカード決済の場合は実際に与信枠が確保され、売上が成立しますので、必ず取消を行って頂きますようお願いいたします。</p>

(2) 接続先 URL の変更

ベリトランス検証環境に接続するために、ベリトランス決済モジュールの「2つの設定ファイル」に記載されている接続先 URL を変更してください。設定ファイルのパスと、設定方法を下表に示します。

設定ファイル1					
設定ファイルのパス	<p><code>\$(EC-CUBE)/app/Plugin/VeriTrans3G/VtDirect/lib/Setting.php</code></p> <p>※ <code>\$(EC-CUBE)</code>は、EC-CUBE のインストールディレクトリです。</p>				
接続先 URL の変更	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">変更前 (本番環境 URL)</td> <td><code>private \$_requestHost = "api.veritrans.co.jp";</code></td> </tr> <tr> <td>変更後 (検証環境 URL)</td> <td><code>private \$_requestHost = "sandbox.api.veritrans.co.jp";</code></td> </tr> </table>	変更前 (本番環境 URL)	<code>private \$_requestHost = "api.veritrans.co.jp";</code>	変更後 (検証環境 URL)	<code>private \$_requestHost = "sandbox.api.veritrans.co.jp";</code>
変更前 (本番環境 URL)	<code>private \$_requestHost = "api.veritrans.co.jp";</code>				
変更後 (検証環境 URL)	<code>private \$_requestHost = "sandbox.api.veritrans.co.jp";</code>				
設定ファイル2					
設定ファイルのパス	<p><code>\$(EC-CUBE)/app/Plugin/VeriTrans3G/tgMdkPHP/tgMdk/3GPSMDK.properties</code></p> <p>※ <code>\$(EC-CUBE)</code>は、EC-CUBE のインストールディレクトリです。</p>				
接続先 URL の変更	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">変更前 (本番環境 URL)</td> <td><code>HOST_URL = https://api.veritrans.co.jp:443</code></td> </tr> <tr> <td>変更後 (検証環境 URL)</td> <td><code>HOST_URL = https://sandbox.api.veritrans.co.jp:443</code></td> </tr> </table>	変更前 (本番環境 URL)	<code>HOST_URL = https://api.veritrans.co.jp:443</code>	変更後 (検証環境 URL)	<code>HOST_URL = https://sandbox.api.veritrans.co.jp:443</code>
変更前 (本番環境 URL)	<code>HOST_URL = https://api.veritrans.co.jp:443</code>				
変更後 (検証環境 URL)	<code>HOST_URL = https://sandbox.api.veritrans.co.jp:443</code>				

	<p>2) 接続先 URL の確認</p> <p>以下のようにベリトランス検証環境の URL が出力されていることをご確認ください。</p> <p><code>connect 3gw url</code> => https://sandbox.api.veritrans.co.jp:443/*****</p>
エラー時の対応	<p>接続に失敗した場合は、ログに出力されているエラーの内容をご確認下さい。</p> <p>OS やミドルウェアのログも合わせてご確認ください。WEB サーバ (apache のログ等) に何らかのエラーが出力されている場合がございます。</p> <p>また、「2.通信エラー時の対応について」をご参照ください。</p>

1.4. 検証結果のご連絡

検証の状況を弊社でも確認させていただきますので、検証が終わりましたら、以下の方法で結果をご連絡いただきますよう、お願いいたします。

- ✓ 検証結果送信用フォームの URL を別途メールにてお知らせいたしますので、その URL にアクセスし、画面に表示される指示の通りに情報を入力して最後に送信ボタンを押してください。
 - ◇ 以下、ご入力いただく項目の一部になります。
 - ・ 本番用マーチャント ID / 検証時マーチャント ID
 - ・ 検証実施担当者の氏名、メールアドレス
 - ・ 検証時サーバーの接続元グローバル IP アドレス
 - ・ 取引 ID
 - ・ EC-CUBE のバージョン
 - ・ EC-CUBE ベリトランス決済モジュールのバージョン
 - etc.

2. 通信エラー時の対応について

通信エラーが発生した場合、最初に以下の3点についてご確認ください。

- ✓ 検証環境に接続するためのシステム要件(TLS1.1/1.2 での通信)に対応しているか
 - ◇ PHP がリンクする OpenSSL ライブラリが、Ver1.0.1 以上であることをご確認ください。
- ✓ 下表に示すベリトランス検証環境との通信が、マーチャント様のネットワークで許可されているか

IP アドレス	ホスト名
210.239.44.181	sandbox.api.veritrans.co.jp

- ✓ 1.2 または 1.3 に記載のとおり接続設定を行っているか

※これらの点に問題がない場合は、ベリトランステクニカル・サポートまでお問い合わせください。

3. 本番運用における注意点

接続検証完了後の本番運用におかれましては、以下の点にご注意ください。

- ✓ 1.2 または 1.3 で実施した接続先 URL の設定変更や、マーチャント ID 関連設定、ダミーモードの設定は、必ず本番用の設定に戻してください。
- ✓ 「通信エラーへの対処のために行ったシステム変更」は、弊社のサーバー証明書更新の時点で変更が適用されている必要があります。変更が適用されていなかった場合は、弊社のサーバー証明書の更新以降、決済がご利用できなくなりますので、必ず本番サーバーへの適用を実施してください。
 - 本番サーバーで検証を行った場合は変更後の状態で運用を開始してください。
 - 本番サーバー以外の環境で検証を行った場合は、お早目に本番サーバーに変更を適用してください。

4. その他

4.1. 著作権、および問合せ先

[著作権] 本ドキュメントの著作権はベリトランス株式会社が保有しています。

Copyright (c) 2018 VeriTrans Inc., a Digital Garage company. All rights reserved.

[お問い合わせ先] ベリトランス株式会社 テクニカルサポート SSL-SHA2 関連窓口

電子メール: ssl-sha2@veritrans.jp

4.2. 改定履歴

2018/3/12 :Ver1.0 リリース

2018/3/14 :Ver1.1 リリース

「1.3.2 検証用取引の実行(EC-CUBE3)」の説明を修正